

金融モバイルSFAソリューション

ブレインワークスが商品化

金融業界でモバイル導入の動きが広がっている。個人情報保護法の観点から顧客カードを持ち出しできなくなり一部大手行などはPDA化により営業員の情報武装化へと対応してきた。

しかしながらここにきて、リアルタイムな情報やコンプライアンスチェックなどにモバイルが脚光を浴び、セキュリティ対策が完成された今、安心してモバイルを積極的に活用したいというニーズが高まってきている。

マルチプラットフォーム対応で機種の問題を解決

ブレインワークスでは開発ミドルソフトとDBにソア・システムズ社の「ル・クローン」を採用。Windows-Mobile、Linux、BREW、SymbianなどのOSにアプリケーション互換性を持つため、機種選択に制約はない。また、PCとも互換性があるので運用や仕様の検証などを机上のPCで行う事も可能。また機種変更時での画面サイズコンバータも用意されているのでハードの制約は実質ほとんどなくなったと言って差し支えない。

金融版モバイルSFAの特長

顧客情報 (個人、世帯、法人、職域…)
汎用SFAとは違い金融機関独特の名寄せされた顧客情報を照会出来る。また案件情報の入力もプルダウン方式で簡単に操作出来る様に工夫されている。

預り証対応
多くの金融渉外担当にとって業務負荷が高くモバイル化では顧客情報照会に次いでリクエストの高い分野である。預り業務そのものをモバイルに組み込み、携帯リモートプリンターにBluetoothで預り証をその場で印字発行する事が出来る。これらは預り業務の平準化、印紙税の一括納付、帰店後の期日管理、届け業務の軽減など、導入効果をはっきり出せる業務である。

コンプライアンス対応
融資業務及び預り資産営業の案件ごとに顧客への商品の説明内容や確認事項をモバイル側でチェックし確認入力する事ができる。また、顧客の了承内容などをその場で入力印字してチェック確認サインする事ができるため、金融商品取引法に則ったソリューションと言える。

ブレインワークスでのソリューション位置付け

ブレインワークスでは金融SFAとしてe-MARKET-BRAIN営業支援/CRMが体系化されているが、このモバイルSFAは連携のみならず単独ソリューションとしても導入できるように考えられている。

今後の展望

モバイルはスマートフォンになりセキュリティ対策を盛り込んだ超小型PCとして進化してきており、外出時でも本部サーバーにある知識エンジンを活用しプレゼンテーションまで支援する事が可能になる。

知識エンジンと連携したセールスナビゲーション
外出先でお客様に知識サーバーを通じ幾つかの質問をして顧客のパーソナライゼーションを実施して推奨商品をその場で提案が可能となる。来店客に対して知識エンジンを使って提案をする事例は保険分野で幾つかあるが、ブレインワークスのソリューションは顧客訪問時の提案セールスの支援という点で革新的である。

図：Brainyworks モバイルSFAの特長

<p>金融業務に特化 顧客カードの項目などをわかり易く、見易く再現し、金融業務への完全対応</p>
<p>全キャリアに対応 au、NTTドコモ、ソフトバンクなどから発売されている機種に対応</p>
<p>預り証発行機能も実装 Bluetooth 機能 & ハンディプリンタを使って預り証を発行 帰店後事務省力化や印紙税一括納付による合理化を実現</p>
<p>相談業務のサポート機能充実 セールスナビゲーション、金利シミュレーション、預り資産時価情報などのリアルタイム情報が参照可能</p>
<p>コンプライアンスへの対応も万全 個人情報保護法・金融商品取引法など、手順書の利用にも対応</p>

Brainyworks, Ltd. All Rights Reserved.